

家庭系ごみの有料化に関する地区懇談会の概要について

1 開催概要

平成20年7月22日から8月9日までの間，市内30地区，公民館等30会場において開催した。市から，資料に基づいて説明の後，意見交換を行い，各会場とも約1時間30分の懇談会が開催された。

2 参加者

1,452人 [男 1,096 (75.5%) , 女 356 (24.5%)]

3 発言者

235人 [男 199 (84.7%) , 女 36 (15.3%)]

4 発言件数

発言は，有料化に係わることや不法投棄・不適正排出対策，集積所の管理，ごみの収集など幅広い内容について，要望・意見，質問が多数ありました。その中で，複数の発言がされたものについては，内容ごとそれぞれ1件として整理いたしました。その結果，発言内容総数は，462件になりました。

なお，有料化には反対と明確な意思表示をされた方は35人おられました。

発言区分		件数
有料化等についての要望・意見		266 (57.6%)
	ごみ減量施策に関する内容	60
	不法投棄対策に関する内容	19
	不適正排出対策に関する内容	16
	拡大生産者責任に関する内容	20
	指定袋に関する内容	20
	手数料収入/用途に関する内容	14
	集積所に関する内容	17
	収集運搬体制に関する内容	13
	分別区分に関する内容	14
	懇談会に関する内容	13
	負担軽減に関する内容	3
	清掃工場に関する内容	8
	実施時期に関する内容	3
	料金設定に関する内容	10
	負担増に関する内容	8
	その他	28
有料化等についての質問		196 (42.4%)
	分別区分に関する内容	31
	不法投棄,不適正排出対策に関する内容	15
	減量効果・施策に関する内容	15
	指定ごみ袋に関する内容	14
	清掃工場に関する内容	14
	手数料収入/用途に関する内容	12
	他市の状況に関する内容	12
	有料化の目的に関する内容	10
	審議会に関する内容	10
	料金設定に関する内容	9
	負担軽減に関する内容	8
	ボランティア袋に関する内容	8
	実施時期に関する内容	7
	切り替え時の対応に関する内容	5
	集積所に関する内容	5
	その他(資料の質問等)	21
合計		462件

5 発言内容等

(1) 有料化等についての要望・意見(266件)

ごみ減量施策に関する内容

有料化に関する意見

- ・ ごみ減量の有効な手段としては有料化はいいと思う。
- ・ 市民・事業者・行政が減量に取り組むべき。ごみ減量で費用も安くなるなら有料化賛成。
- ・ 職員の意気込みが感じられる。有料化の目的がごみの減量化だということを伺って説明を聞いてよかったと思った。
- ・ 燃やせるごみの半分近くを生ごみが占めているのであれば、生ごみをいかに減らすかが重要であり、食の問題につながると思う。生ごみの減量化ということだけではなく、食生活・環境問題も含めた広い視点で市民にPRしてほしい。有料化には賛成である。
- ・ 有料化でごみが減るのか。買う段階や必要でないものは買わない、買わない等の工夫で、減量の施策が必要と思う。ごみを出さない方策を国、県、市などで考えてもらいたい。
- ・ 有料化導入ありきが強く感じる。有料化しかごみを減量する手段がないのか。有料化には反対だ。有料化が有効な方法なのか検討すべき。
- ・ 有料化ありきで検討しているのではないのか。減量を目指すのであれば別の方法もあるのではないかと考える。
- ・ 審議会では有料化ありきで話しているのではないのか。有料化の前に実施する減量施策があると考えらる。
- ・ ごみ減量が目的であるならば、有料化は最後の手段としてあるべき。減量に向けた取り組みを重視すべきである。
- ・ 審議会のごみ有料化ありきで進められているようだが、大森住宅のような取り組みを個人にも広げ、市が回収する仕組みなど他の施策も検討してほしい。
- ・ 有料化の必要はないと考える。生産者責任や他の減量施策を取ることが先決だと考える。
- ・ ごみの減量ならば、有料化することで解決するのではなく、減量に向けた取組をするべきだ。町内会役員の役割が大変になるのでは困る。
- ・ 有料化には反対。横浜市のように他施策で、ごみ減量を達成している例もある。検討が必要と思う。
- ・ 審議会でも有料化ありきで検討しているとしか思えない。有料化をしない方法も、考えていく必要があるのではないかと考える。
- ・ 有料化は反対である。分別の徹底や、市民に対しての周知を深めて、3Rの施策を推進すれば、有料化をしなくてもごみは減らせると思う。
- ・ 有料化ありきの話の前に、循環型社会の形成について取り組み、その取り組みの結果、やむなく有料化が出てくると考える。
- ・ 有料化でごみを減らすというが、その前にやるべきことがあるのではないかと。減量成功した自治体を調査するなどして、もっと勉強して欲しい。
- ・ 物価高で日々の家計が大変である。そのような中、ごみまで有料になるのは大変苦しい。有料化の前にごみ減量施策をすべきだ。
- ・ 有料化に反対。上市市はごみの量が減っている、同じ減量施策をすべき。
- ・ 有料化は反対。減量効果もないと考える。リバウンドも心配である。

- ・ 有料化が減量につながるのか分からない。生産者責任やごみ減量施策を考えるべきだ。私達は、好んでごみを出しているわけではない。大企業を含め、意識改革が必要。どうやったらごみを減らしていけるのか、リサイクルも含めて考えるべき。
- ・ 順調に減っているのに何故有料化の必要があるのか。市民の意識による減量効果を狙うのであれば、必要ないと思う。
- ・ 有料化しなくてもごみは減ると考える。
- ・ 29年度までの目標は120g削減とあるが、12年度からすでに100gの削減を達成している。今は不景気だし、有料化せずとも減らせると思う。
- ・ 今回の有料化の手法は全て他市の真似である。山形市がモデルとされるような方法を考えるべきである。

他の減量施策に関する意見

- ・ 有料化は反対。ごみを出す市民が悪者にされている感じ。水切り徹底を呼びかけては。
- ・ 生ごみはコンポストで処理している。また、周囲では電気式生ごみ処理機で出来た肥料の処分方法で苦慮している。この様なことも含め、もっとコンポスト等の活用を広めるべきである。
- ・ コンポストに対する補助金の増額をすべきと考える。
- ・ 生ごみをコンポスト(堆肥化)するときに悪臭が発生するが、愛媛県で納豆菌や酵母菌などを使い脱臭していると聞いたことがある。悪臭がでない方法など、施策に取り入れてはどうか。
- ・ 生ごみ処理機の購入に助成する制度があるようだが、どの位の人が利用しているのか。また、もっと求めやすい価格にならないのか。生ごみの堆肥化づくりについて、もっと情報提供してほしい。
- ・ 大森地区で行っている生ごみの堆肥化を普及させれば、計画以上にごみを削減できると考える。
- ・ 排出抑制とあるが、生ごみの水切りについては、以前から指導があったはずである。
- ・ 生ごみ処理機の普及について、もっと普及すべきだ。
- ・ 生ごみ処理機を市でレンタルしてはどうか。
- ・ 長井市のレインボープランのようなことをすべき。
- ・ ごみ減量施策として、家庭用のコンポストを無料で配布するのはどうかと思う。
- ・ ディスポーザーの性能もかなり良くなっているので、施策として研究して欲しい。
- ・ 生ごみ処理機、コンポストの補助金や手続き方法を簡単にして欲しい。
- ・ 生ごみを肥料化し、それを集めて販売している地域がある。市民農園や家庭菜園をしている人がたくさんいる山形でも出来ると思う。
- ・ ごみの減量を推進する上で資源回収の推進費3円/kg(以前は5円/kg)からの値上げを願いたい。
- ・ 資源回収時にまだ出していない家庭があるので、協力いただけるように頑張りたい。食品トレーについては、資源回収で集められればよいと思う。
- ・ 分別したり、資源回収にも協力している。ごみの減量は、住民の努力があってこそ、ごみを減量するならば、有料化に向かって急ぐ必要はない。
- ・ リサイクル可能な紙類や布類について、減量するための施策を実施して欲しい。
- ・ 雑がみ回収により、回収量が増えた。集団資源回収助成を強化してほしい。
- ・ レジ袋が有料となったことで、事業者はそれだけ経費がかからなくなっていると思われる。その一部をごみの減量施策に充てられたいと思う。
- ・ レジ袋無料配布中止により、ごみは減っているのでは。他市が有料化しても、本市の有料化には反対。
- ・ レジ袋の有料化はいいと思う。紙の袋も有料にすべきと思う。

- ・ 農業用の廃プラスチックを再生利用して、ごみ袋を製造すれば、単価も安くなり、リサイクルになり、経費節減になると思う。
- ・ トレーの店頭回収等、もっと事業者に対し行政が指導すべきと考える。
- ・ 会議等でペットボトルが出てくるが、茶碗を使えばごみにはならない。ごみを出さないというのが大切だ。

減量啓発に関する意見

- ・ 市としての努力なしで有料化はいかなものか。市内の集積所ごとに懇談会を実施すればごみ減量につながると思う。
- ・ 自分たちが出したごみを、どうしたらよいか考えていく必要がある。前向きな考えで、話し合いをすすめてもらいたい。
- ・ 説明会等を開催して、ごみの減量を説明すれば有料化しなくてもよいと考える。
- ・ 若い世代へのごみ減量の啓発をしてほしい。
- ・ 情報提供をもっとお願いしたい。関心のない方にもっとアピールすべきである。また、細かい分別法や、集積所以外に資源ごみを出せるところなどの情報もほしい。先進国（ドイツ）を見習いながら施策や指導を行ってほしい。
- ・ ごみの減量という観点から見れば、排出者責任は当然と考える。ごみ減量に対する市民の意識改革を吹奏してほしい。
- ・ ごみの減量は、一人ひとりの意識の問題である。また、山形県のリサイクル率は全国で11位と聞く。それなのに、有料化の道筋がすでに敷かれてある。
- ・ 市が中心となって古くなった雑貨や小型廃家電類を再利用できるようにして欲しい。
- ・ いわき市では、市民参加のリサイクル推進を行い、家具や自転車、育児用品を修理して販売していた。
- ・ 事業系のごみの排出について、市で指導して欲しい。

不法投棄対策に関する内容

- ・ 不法投棄が増大する可能性がある。ボランティア袋だけで足りるのか。また、他の人の持ち込みがある。パトロールの強化・支援をお願いする。
- ・ 有料化になれば不法投棄や不適正排出が増えると思うので、美化のためにも、啓蒙・啓発活動とパトロールの強化は是非お願いしたい。
- ・ 不法投棄対策、パトロールを強化してもらいたい。
- ・ 不法投棄・不適正排出に対する町内会の負担が大きくなっている。パトロール強化などしっかりした具体的な策・内容を出して審議会では論議してほしい。
- ・ 不法投棄の啓蒙活動をどのような形で行うのか実施前までにきちんとした形で示して欲しい。
- ・ 不法投棄に対して啓蒙活動だけで足りないのではないかと思う。
- ・ 不法投棄が多く、特に大型ゴミに困っている地区である。警察はあてにならないので市に担当窓口を作って市でお願いしたい。
- ・ 有料化となれば、不法投棄が増えるのが心配。徹底的に取り締まって欲しい。不法投棄が現在も多いことを認識して欲しい。
- ・ 夜中、公園にタイヤの不法投棄がある。新庄市のごみ袋記名のように徹底した対策をとるべき。
- ・ 有料化することによって、不法投棄をする人や自分でごみを燃やす人が増えることが予想されるが、具体的な対策を取って欲しい。

- ・ 不法投棄対策を具体的に明記して、今後進めてほしい。
- ・ 不法投棄について、前向きに検討していただきたい。
- ・ 不法投棄対策で、パトロール強化といているが、もっと具体的なものが必要なのではないか。町内会での負担が増えるのではないかと思う。
- ・ 不法投棄物が多い。他地域との均衡を図るとすれば、有料化になったとしても、他地域に比べ料金設定が安いので有料化でも不法投棄はなくなると考える。
- ・ 不法投棄の対策費用は、有料化しなければ不要な経費である。矛盾する。
- ・ 有料化すると、不法投棄や焼却したりする者が出るだろう。
- ・ コンビニの周りにゴミがポイ捨てされているが、仙台市ではコンビニが清掃するような取り決めがあると聞いている。山形でもそのような取り決めをしてはどうかと考える。
- ・ ごみをコンビニに持ち込むとか、不法投棄にならないか、個人のモラルの問題だが、心配なので考えていただきたい。
- ・ 有料化になると、コンビニなどにごみを捨てる人が増えると懸念される。

不適正排出対策に関する内容

- ・ 不適正排出されたもの町内会等で分別した場合は、市ですぐ回収してほしい。
- ・ 正規の袋を利用しない人がおり、役員が詰め替えをしている。
有料化になったら、正規の袋を利用しない人がもっと増えるのではと不安なので考えて欲しい。
- ・ 集積所の違反したごみは、町内会役員が再分別を行い対応している。そのため、また同じように違反ごみが出されてしまうのが問題だ。
- ・ 他の地区から置かれるごみは町内会での対応となる。有料化となると、不適正排出への対応が大事になる。お金のことだけでなく、これまでの問題を棚上げすることなく、解決してほしい。
- ・ ごみ袋には行政として記名させるべき。集積所に出された違反ごみの対応には苦慮している。ボランティア袋を支給してもらっても地元の負担は今と変わらない。
- ・ ごみの排出について、違反したら過料をとるなど、明確に罰則を設けて欲しい。
- ・ 違反ごみを出した人に対して、罰則を作ってはどうかと考える。
- ・ 集積所に出される違反ごみの処理に大変苦労している。啓蒙活動をもっと強化しなければならないのでは。回覧はあまり見てくれないので、テレビスポットなどが効果的と考える。
- ・ 事業系ごみが集積所に出され困っている。立ち入り指導していただきたい。
- ・ 山形市以外の人、山形市の袋に入れて、集積所に置いていくのを防止するために、早く有料化したほうが良いと思う。
- ・ いくら分別徹底の啓蒙をしてもごみ出し違反は絶えない。違反ごみの保管に苦慮している。特に、毛布・布団等ボランティア袋では対応できないものもある。他市からの流入の可能性もある。
- ・ 町内会で管理している集積所へ、他の地区からごみを持ってくる人がいる。そのようなものに限って、分別がなくなって、地区でお金をかけて処分している。
- ・ 他の自治体から持ってくるというのは少ない。90%以上は地域の人だ。
- ・ 有料化によるルール違反ごみへの配慮をお願いしたい。
- ・ 経済的格差が広がる中、ルール違反ごみ増が心配。
- ・ アパートの人は特にごみ出しが悪い。

拡大生産者責任に関する内容

- ・ 有料化に反対。ごみが減っている有料化ありきの説明だ。単に国の方針に従っているに過ぎない。ごみを発生させる企業にも責任を取らせるべきだ。
- ・ ごみが減っている状態なのにごみの有料化するのは反対。家計をあずかるものとして、ごみ減量を積極的にがんばっているのに負担が大きくなることは困る。
事業所にも積極的に指導を行っていただきたい。
- ・ 山形市は公共料金が高い。更に、物価高のこの時期に有料化になるのは大変苦しい。消費者だけでなく生産者側にも責任があると思う。
- ・ 自動販売機等たくさんある。それに伴ってごみも多く出るのはないのか。販売元でも積極的な減量策や回収もすべきでないのかと思う。
- ・ 市民の努力でごみは減量になっている。商品購入の際、ごみも買わされるという現実を熟慮してほしい。
- ・ レジ袋の無料配布をスーパーでやめたが、そもそもゴミ袋を配布していた事業者の責任があると思う。
- ・ 生産者の責任をもっと明確にできないのか。国の施策の部分かと思うが、国に対して生産者の負担について働きかけてほしい。
- ・ 大量生産の抑制、生ごみのコンポスト化等、国レベルでの取組みが必要と思うが、要望すべきだ。
- ・ もやせないごみの減り方が少ない。事業者が生産段階で配慮すべきでないのか、行政が指導すべきだ。
- ・ 家庭での減量には限度がある。
お土産などの過大包装の改善や、食品トレーの改良など、事業者側の責任は大きいと思う。市は行政として働きかけもっと必要なのではないかと思う。
- ・ ごみ減量については、生産者にも責任があるのではないか。消費者にだけ負担を求めるのではなく、有料化の前にごみ減量運動を進めるべきではないか考える。
- ・ 過剰包装についてなど、販売元にも説明や申し合わせをすべきだ。
- ・ 缶ジュース、ペットボトル等飲料水が多く出回っているが、販売元の企業での収集・処分を考えるべきと思う。
- ・ 商品を購入すると不要な外箱がついてくる。売る側への指導は、食品トレー以外も必要ではないか考える。
- ・ ガソリン価格高騰など生活が厳しくなる中で、企業に対し、ごみを売らないようお願いしたい。
- ・ プラスチックごみの減量はレジ袋の取組みだけでは終わらない。製造販売業者の負担も必要ではないか考える。
- ・ 過剰包装減量のために、商品の中身だけ購入するなど、できるのか。事業者のごみこそ、しっかり徴収することを考えればよいのでは。
- ・ 製造業者の負担を増やすべき。
- ・ 過剰包装等でごみを買わされている。本来業者が負担すべきものを市民や自治体が肩代わりしている。これはおかしい。一自治体ではむずかしいだろうから、国にも働きかけるなど改善してほしい。
- ・ 生産者の責任が、結局は市民への負担になってしまっている。市議会で立法化できないかと思う。

指定袋に関する内容

- ・ ポリ袋、紙袋と変わり、現在の分別ポリ袋に変わったが、その都度袋が余り勿体ない思いをした。旧袋の使用経過措置をとってほしい。

- ・ 大家族で特大袋を使っている，特大袋をそのまま残して欲しい。
- ・ 現在使用する袋は，有料化後はどうなるのか。燃やせるごみ以外の袋が残ると思うので，現在の袋に，シールを貼付する方式にしてほしい。
- ・ 現在のごみ袋が大量にある。有料化となった場合も，使える方法をお願いする。
- ・ 今後，プラスチックごみは燃やせるごみとして変わるようだが，ごみ袋については，買いためしており，残ってしまうのが心配。せめて，2～3年程度は周知期間にして欲しい。
- ・ 以前，紙袋から現在のごみ袋に変更された際，未使用の紙袋を捨てなければならなかった。今回も同じ様なことがないようにしていただきたい。
- ・ 現在の袋を使えるようにして欲しい
- ・ 違反ごみ対策等，ボランティア袋について配慮してほしい。
- ・ 集積所等で違反物が出た場合，分別の袋を準備して欲しい。
- ・ 第10小学校は大量の落ち葉がでて特大袋がいくつも必要。美化活動継続のためボランティア袋を積極的にPRしてほしい。道路美化も併せて考えてほしい。
- ・ カラス対策等を考えたごみ袋のデザインの配慮を願いたい。
- ・ カラス対策に苦慮している。黄色のごみ袋や防護ネットの対応をしてもらいたい。
- ・ 将来，有料化になると思う。それなら，カラス対策のため，もやせるごみ袋を黄色にしてほしい。
- ・ 事業者が悪いことを知りながら集積所に出している。事業系について事業系の袋の色を変えるなどの工夫が必要なのではないだろうかと思う。
- ・ 新しいごみ袋のデザインで住民が任意で使う枠を設けるとあるが，もっと積極的に市として使用するよう進めてもいいのではないかと考える。
- ・ せっかく有料化するのであれば，袋のデザイン等（色も含めて）をいままでのものと区別するという意味でガラッと変えることも必要でないか。これは，移行期間対策にも有効と思われる。
- ・ 袋について，今までとおりの呼び方でいいのではないのか。（大・中・小）
- ・ 高齢化が進む中，たくさんの量を詰め込むだろう特大袋は重すぎて使えない。なくしてもいいのではないかと考える。
- ・ 袋自体も安く出来るのではないのか。その辺も考えるべきである。
- ・ 実際，市に入る収入のうち，4割が袋の製造経費とあるが，経費を削減する方法を取るべきだ。

手数料収入・使途に関する内容

- ・ ごみ減量のためには，有料化は，避けて通れない手段である。有料化に当たっては，集積所の整備，個別回収の実施等，市民サービスの充実を図ってほしい。
- ・ ごみは町内会が一番大変である。その現場に目を向けた施策を考えるべきである。ごみ有料化の実施に伴って，山形市の特色を出すべきである。
- ・ 有料化となった場合，ごみの持込が増えることが予想される。有料化は反対ではないが，町内会に補助金を出すとかが，考えて欲しい。
- ・ ごみの処理に約27億円かかっているが，有料化すると，1人，500円/月，6,000円/年で，半分近く賄うことになる。
- ・ 集積所の維持管理費（カラス対策のネット購入や，工作物の補修等）の助成等を行ってほしい。
- ・ 生ごみの減量対策に，有料化のお金を使用して欲しい。
- ・ 不法投棄パトロールの監視強化を町内会に依頼することになるのであれば，助成金を考えていって欲しい。
- ・ 手数料の使い道，中身を具体化してほしい。子供たちの意見も聞いてみるとよいと思う。

- ・ 有料化での歳入を，減量化の施策に使って欲しい。
- ・ 有料化にあたって，袋の製造経費等が収入の4割とは高すぎると思う。
- ・ 有料化による手数料収入が新清掃工場建設に費やされるのではいかなものか。
- ・ 有料化となった場合の，ごみ袋や金額（20円が60円となると，40円が市の収入になるのか）など，具体的に説明して欲しい。
- ・ 減量が目的で有料化を考えているのであれば，収入をどのように使うのか，その施策を打ち出すことで，PRになると思う。
- ・ ごみを減らすために有料化して，得た収入も減量のために使用するというのであれば，目的税として使途を限定し，特別会計で実施してほしい。一般会計の不足分を補うためだとすれば，納得できない。

集積所に関する内容

- ・ 集積所状況は非常によくになっている。ごみ有料化は，今の時代として仕方ないことと思う。
- ・ 集積所での古紙回収について，指定業者でない者が持ち去っている。パトロールが必要ではないかと考える。
- ・ 集積所設置について，道路や公園等設置が認められなかった場合があった。有料化によって設置しても良くなるのではなくて，現時点で認めてほしい。
- ・ アパートが，自前の集積所がない，ルールを守らないのが多く。条例などで厳しくしてもらいたい。
- ・ 何らかの集積所への補助，還元してほしい。
- ・ 町内会に加入していない人が集積所に出したごみは，拒否することができるのか。市役所から町内会員のみ集積所を使用するよう通知してほしい。
- ・ 町内には独居老人が多数いる。そのような人にはごみ集積所が遠い。
- ・ 集積所の場所提供をしている人へも支援をお願いする。
- ・ 高齢化が進み，町内で独自に車でごみを集めている状況。また，集積所の見回りについては老人にはつらい。パトロールを強化し，老人は見回りをしなくてもよい環境にしてもらいたい。
- ・ カラス対策の黄色いネットは非常に効果的。全市で助成をお願いしたい。
- ・ 集積所への個人事業者の事業系と見られるごみ排出への対応についてはっきりしたものを出してもらいたい。
- ・ 古紙類回收集積所が遠く不便である。
- ・ 集積所からの古紙類の持去りが問題と思う。
- ・ 集積所の点検・パトロール等を実施しているが，一人一人のマナーやモラルについて，悪い事例もあった。地区民の中で検討していきたいと思う。
- ・ 分別冊子，集積所の看板を新しく取り替えてほしい。
- ・ 集合住宅からのごみ排出に問題が多い。（単身者や学生等）
不動産業者に対し，部屋を斡旋する際，集積所を教えることやごみの排出方法について説明することを徹底してほしい。
- ・ 環境美化も大事だが，市民にとっては負担増だ。町内会では分別不徹底のごみ袋の処理に苦慮している。ごみ出しのルールについて，しっかりとした周知・啓発活動が大事だ。

収集運搬体制に関する内容

- ・ 有料化はしょうがないと思っている。収入の使い方としてもやせるごみを午前中収集お願いしたい。

- ・ 新清掃工場が出来ると遠くなるので、収集車が多く必要になると思う。組合のみでなく、民間業者への委託も考えるべきと思う。
- ・ 祝祭日のごみの収集を実施して欲しい。
- ・ 祝祭日の収集について検討して欲しい。
- ・ 特に祝日明けなど、カラスの被害などないように早い時間で収集して欲しい。
- ・ 祝祭日のごみ収集完全実施は、有料化を待たずに実施して欲しい。
- ・ 集積所の違反ごみについて、収集の判断基準を公平に対応して欲しい。
- ・ 燃やせるごみの収集が週2回で足りないと思う。
- ・ 河川清掃と一斉清掃では、集めることが出来る可能なごみが違う。また、町内会で行った清掃も、環保協を通さないと処理をお願いできないなど、手続きが面倒である。
- ・ 埋立てごみ袋は、月1回出せるよう、もっと小さいほうが良いと思う。
- ・ 集積所管理が困難。高齢化で運ぶのが困難な方もいる。軒先回収を検討してほしい。
- ・ 集積所について、ステーション方式から軒下収集として欲しい。
- ・ 有料化は、新清掃工場建設のため経費が必要だから行うのか。もっと視野を広げ、市と民間が協力してほしい。

分別区分に関する内容

- ・ 有料化は、好ましくないがやむを得ないと思う。
地区から出るごみに対する措置と不法投棄に対する措置をしっかりと行って欲しい。
- ・ 有料化ありきは反対だが、もっと分別を細分化しての有料化であれば、協力します。
- ・ 分別に協力するので、説明会を増やし、有料化はしないでほしい。
- ・ 有料化する前に、分別を多くすべきと考える。
- ・ 小型家電などは、希少金属の抽出などを考慮すると、ペットボトルと同様、資源と考えるべきであると思う。
- ・ 廃食用油の活用について。行政回収してほしい。
- ・ 野菜くず、剪定枝等には、シールは使用しにくいと、紐の様なタイプにすれば良いと思う。
- ・ 剪定枝など、シールだと剥がれる危険性もあり、ひも状のようなものでもよいのではないかと思う。
- ・ 雑がみについて、どこまでを出せるのが分からない人が多いように思える。もっとアピールをすべきと思う。
- ・ 分別の種類が多すぎるのではないか。年配の方にもわかりやすいものにしてほしい。
- ・ 分別がなっていないと、集積所でけんかになる。1つの袋に全部のごみを入れて回収し、センターなどで分別すればよいと思う。
- ・ 米沢市ではトイレトペーパーの芯をリサイクルのため集めていた。
- ・ ペットボトルについては、蓋がついていると持っていかないと、分別が細かいのに対し、ピンカン是一緒でいい。ピンとカンを分別してもよいと思う。
- ・ 食品のプラスチックをもやせるごみとしていることが理解できない。分別した資源を山形で再生すればよいと思う。

懇談会に関する内容

- ・ 資料は、事前に市民全員に配布してから意見交換会を実施すべきと思う。
- ・ 有料化に関する情報(懇談会の内容、審議会への意見反映状況結果など)は地区に返答して欲しい。

- ・ 会場にマイクを準備して欲しかった。
- ・ 出された意見についてどのように処理したのか公開して欲しい。
- ・ 今日も懇談会の受付に2名来ているが、無駄ではないか。市の経営感覚が疑問だ。
- ・ 反対意見に対し、いちいち反論するのでは、懇談会の意味がないと思う。
- ・ 有料化に至るまでの住民との対話が不足している。ごみ減量のアイデアを募集したり、意見交換する機会があるべきと思う。有料化は、避けて通れないとは思いますが、十分に時間をかけるべき。導き方が問題である。
- ・ この懇談会が18時からであったが、もう少し遅い時間の方が集まりやすいと思う。
- ・ この度の懇談会の開催通知について、市報を配るのと一緒に配れるように配慮してほしい。隣組長分をきちんと印刷して、回覧するようにしたほうがいい。
- ・ 一ヶ月の一世帯あたりの負担額が500円と具体的に出したのが審議会であるならば、この懇談会は審議会が開くべきなのではないかと思う。
- ・ ごみ処理基本計画の中のごみ有料化について、自治推進委員に何の説明もない。人を集めてと言われただけである。もっとやり方があると思う。
- ・ この懇談会に来ていない人に理解してもらうことが大事ではないかと思う。
- ・ 周辺自治体はすでに有料化しているが、有料化するとごみは減るのか。一時は減ってもまた増えると聞く。有料化ありきの危惧がある。今回限りの懇談会だけでなく、何度も話し合いをしてほしい。

負担軽減に関する内容

- ・ 各福祉制度に該当する以外でも紙おむつ利用者は多く、特に高齢者に対する配慮をしてほしい。
- ・ オムツ利用者は赤ちゃん以外だけでなく高齢者も多いため配慮してほしい。
- ・ 違反ごみ処理に大変苦労している。また、公園の維持管理のため、ごみ袋は多数必要。町内会負担とならぬよう考えてほしい。

清掃工場に関する内容

- ・ 処理規模により、清掃工場の建設費用が違うというが、現在埋立てているプラスチック類を合わせて燃やすのでは、理屈が立たないと思う。
- ・ ごみを減らせば、新清掃工場はもっと小さくできるのではないと思う。
- ・ 新清掃工場建設予定地の柏木は、今後どのようにっていくのか心配だ。
- ・ 清掃工場の設定規模、378tは、計画の誤りだったのではないかと思う。
- ・ 新清掃工場建設にあたり、ごみが減りすぎて焼却温度を上げるために困らないのかと思う。
- ・ 上山市柏木地区の新清掃工場建設地では、距離がありガソリン代がかかるのではないか。山形市内にもっといい場所があるのではなかったかと思う。
- ・ 新清掃工場は遠くなるのでガソリン代等経費が掛かる。
- ・ 新しい清掃工場への運搬経費がかかるための有料化なのではないか、はっきり言えばいいと思う。

実施時期に関する内容

- ・ 原油高、物価高で生活は非常に厳しいが、有料化はやむを得ない。開始時期はいつからなのか。
- ・ 有料化の時期がよくない。有料化よりも、市民の動機づけが重要だろう。今後、有料化し、減量効果が達成されれば、有料化を解除するという判断も必要だろう。
- ・ 町内会役員が多く変更になる時期は、有料化開始時期を避けるのを配慮願いたい。

料金設定に関する内容

- ・ 有料化しても今考えている料金は、他市よりも安い中で、今後も持ち込みがあるのではないのか。断定は出来ないが、そういうものが不適正排出となることが多いのではないのかと思う。
- ・ ごみ袋の製造者、販売者等が努力すれば、一世帯あたり一ヶ月 500 円の負担額は下げられるのではないかと思う。
- ・ 料金の設定はごみ処理費用の 2 割程度としているというが、新清掃工場になった場合、処理費全体が上がるのが予想される。料金が値上げされるのか。そもそもごみの減量が目的ではなく、新清掃工場になって経費がかさむ分を有料化で賄おうとしているように思う。
- ・ 1 あたり 1 円というように、容積に対しての料金設定として欲しい。
- ・ 歳入の用途と経費を決めずに、負担額を決めるのはおかしいと思う。
- ・ ごみの排出者責任の観点から有料化には賛成。
- ・ ごみの有料化は新たな課税ではないか。税金は所得割りがあるのに、ごみは一律というのはいかかなものか。また、税は支払が少し遅れても大丈夫だが、ごみは即持っていけないというのは、非常に重い罰則ではないかと思う。
- ・ 庭木、対象除外への配慮してほしい。
- ・ 有料化実施後、さらに値上げにならないよう努力してほしい。
- ・ ごみ袋の値段が今までの 4 倍になるようだが、将来、処理経費が 27 億円から増額となるのであれば、理解できる。そうでないのに、負担が 4 倍になるのは理解が出来ない。

負担増に関する内容

- ・ 物価上昇等、市民に色々な負担が覆いかぶさってきており、大きな重石となってきている。また負担が増えることになるので、市民が納得して取り組むために、議論が必要。
- ・ 時期が悪い。原油高等、家計の負担が大変な時期に実施すべきではない。
- ・ 過剰包装問題に対して、メーカーやスーパーに要望できないのか。ガソリンなどが値上がりし家計を圧迫しているので、ごみの有料化は避けてほしい。
- ・ 年金暮らしで原油の高騰で何もかも物価が上がり生活が大変である。法人税の増税や市職員の給料を下げる等すれば、有料化をせずに出来るのではないのか。ごみの有料化はないだろう。
- ・ ごみの量によって経費が決まるのではない。有料化は公平性に欠く。ごみを徹底的に分別している人は、単純に 4 倍になる。適当に分別している人は、今後も減量の余地があるので、2 倍程度で済むかもしれない。
- ・ この表からは、有料化の必要性が導きだせない。
- ・ 有料化反対、月 500 円、税金のほかに手数料を払うのは二重払いだ。
- ・ 有料化は反対である。住みよい市を目指すのであれば、有料化は行わず、無料として人口を増やすべきでは？

その他

- ・ 説明を聞き、有料化は必要ではないかと思った。
- ・ 下水道使用量と一緒に認識している。有料化には賛成。
- ・ 排出者責任意識をしっかりと持つ、受益者負担は原則であると認識している。
- ・ 有料化ではなく、現状のままでごみ処理できないのかと思うが、有料化せざる得ないとも思う。

- ・ 中間答申の説明というのに、有料化を進めますの説明としか聞こえない。また、説明の時間より質問の時間が短いというのは、どうなのか。
- ・ 「日本のごみ」という本を読んだことはあるか。ぜひ読んで見直してもらいたい。有料化ありきでは、根本的な解決にならないと思う。
- ・ 啓発活動していくとのことだが、スーパー・コンビニやアパート等特に学生への指導をして欲しい。
- ・ 排出量について、山形県と比較しているが、人口の把握について、バックデータをしっかりしてほしい。
- ・ 有料化により、税金の二重払いになるのではないか。公平性を保つには、手数料の一部を年末調整等で還付すべきと思う。
- ・ このような重要事項について、ただ住民に下ろせばいいというようなことのないようお願いしたい。
- ・ ごみ処理負担の「適正化」と「公平性」の確保について、「適正化」「公平性」について、具体的に説明して欲しい。
- ・ ごみ処理経費について18年度分が示されているが、それ以前と、19年度を示すべきと思う。
- ・ 有料化は時代の流れとは思いますが、非常に重要な問題であり、もっと時間をかけて議論・周知していく必要があると思う。
- ・ ごみが減ってきたというが、なぜ減ったのか具体的な説明が足りないと思う。
- ・ 地域によっては、剪定枝程度なら焼却を認めて良いのではないかと思います。
- ・ 昔は各家庭、事業所、役所に焼却炉があり燃やしていた。どうして駄目になったのか。性能が悪かったのか。機能が良いものを導入したらよいと思う。
- ・ アパート、町内会未加入世帯、転入者等に対して、市として年2回程度、ごみの出し方についての指導をしてほしい。
- ・ 公園の木からの落ち葉が多く困っている。間伐してはどうかと思う。
- ・ 転入者が転入届をする際、町内会へ必ず加入し、会費を払うこと、規約を守ること等を指導してほしい。
- ・ 事業主がごみの分別を理解していれば、各事業所で従業員に指導することができると考えている。事業主に対して、ごみの分別方法についてのアンケートを取ってみるとよいと思う。
- ・ 子供たちへ分別を教えて欲しい。
- ・ 小学校だけでなく、今から将来を担う中学高校生へ出前講座して欲しい。
- ・ ごみ量の表記について、gだったり だったりして、統一していない。比重を使っていると思うが、分かりやすく説明して欲しい。
- ・ 裕福な人はごみをたくさん出せて、貧乏人は少なく出せということか。
- ・ 有料化を成功させるために、市民だけに押し付けるのではなく、関係課のみではなく、市役所職員全員が住民と力をあわせ実施していただきたい。
- ・ 7/15 号の市報がどれくらい読まれているのか、自分も今日初めて詳しく知った次第だが今日の話聞いてよく理解できた。地区の集会等で、伝えていきたいと思う。広報はもっとすべきである。
- ・ アパート等の分別について、町内会だけに任せず、市として啓蒙活動をお願いしたい。
- ・ 有料化の進め方に失望している。市民へ負担を求めるなら、市長選や市議選の争点にしてほしい。

(2) 有料化等についての質問(196件)

(有料化の目的)

Q何故ごみ有料化をしなければならないのか？

A地球温暖化等の対策を推進するためには、限りある資源を大切にし、ごみ処理に伴う環境負荷を一層軽減する必要がある。ごみの有料化は、ごみの発生・排出抑制に効果があり、ごみ処理負担の公平性、施設への経費節減が図られるものであり、ごみの減量化・資源化を推進していくための施策です。

Q物価上昇の折、なぜこの時期に有料化をするのか？

A料金設定にあたっては、過度な負担とならないよう設定しております。有料化の具体的実施時期にあたっては、今後検討していきます。

Q有料化の目的がごみ減量であるなら、有料化ありきでなく他の減量化施策をすべきでないのか？

A有料化でもごみ減量を行っていきませんが、併せて、他の様々なごみ減量施策により、発生抑制・再利用・再生使用を促進し、ごみの減量化・資源化に努めるため、市民・事業者と一緒にやっていきます。

Q有料化することによって市民に何のメリットがあるのか？

A有料化によりごみ減量されることにより、市民の方々のごみ処理負担の公平性が確保され、清掃工場の建設・管理運営の経費削減などが図られるとともに、最終処分場への埋立量が削減され長期使用が見込まれます。

Q清掃工場が新しくなるから、遠くなるから、その経費のため有料化するのか？

A有料化は、新清掃工場のためではありません。

地球温暖化の対策として、限りある資源を大切にし、ごみ処理に伴う環境への負担をより一層低減していかなければならない。そのための、ごみの有料化であり、ごみの減量化・資源化を図っていくものです。

(減量効果)

Q有料化で本当にごみは減るのか？

A減量効果を10%程度と見込んでいます。料金設定にあたっては、実施市の例を参考にして減量効果があり、また、過度な負担とならない料金水準としました。リバウンドも懸念されるが、市民・事業者と一緒にやり、様々な減量施策を講じリバウンドが起きないように努めます。

Q有料化実施自治体を見ると、有料化後数年経つとリバウンド現象があると聞くと、山形市も結局そうなるのではないかと？

A多くの自治体では、減量効果があり維持している。減量効果の料金設定と、何のためにやるかの市民の理解がポイントである。中には失敗している例もあるが、やはり手数料をもらうことを目的にスタートし、市民への周知活動・説明会等もなかったため、ごみは減らなかった。

山形市としても、リバウンドがないよう市民と一緒に考えていきます。

Q有料化するとごみの何がどう減るのか？

A出来るだけごみになるような物は買わないことや、過剰包装対策やマイバックの推進など、ごみとなるものを減らす発生抑制・排出抑制でごみを減らしたい、減らさなければならない、とこのきっかけとしたい。

(清掃工場)

Q新清掃工場建設に関して近隣市町から意見が出されているがどうなのか？

A新清掃工場建設は、安心、安全をコンセプトに進められているものであり、清掃工場が与える影響を考慮し、環境影響調査を実施しながら、十分理解してもらいながら建設を進めています。

(負担軽減)

Q配慮すべき事項として負担軽減措置があるが、どうなるのか？

A生活保護世帯に対する負担軽減措置は従来どおりであるが、新たに福祉制度のおむつ支給事業利用者、高齢者・障害者については対象として考えている。また、乳幼児の紙おむつ利用世帯についても対象として負担軽減措置を講じて行く。

(不法投棄・不適切排出)

Q有料化実施で不法投棄や不適正排出が懸念されるがどう対処するのか？

A不法投棄や不適正対策については、しない・させない環境づくりを進めて行きます。具体的には、看板やロープの設置や啓蒙活動・パトロール等の実施。監視カメラ等の設置も一つの策と考えています。

Q不適正排出については、町内会の負担も増えると思うが、対策はあるのか？

A町内の経済的負担が生じないようにボランティア袋・ボランティアシールの支給を考えています。

(ごみ袋)

Qごみ袋の値段は現在店によって違うが、有料化ではどうなるのか？

A価格については、ごみ袋が証紙であるため、有料化実施後のごみ袋については、どこで購入しても同一値段となります。

Q現在売っているスーパー等で購入できるようになるのか？

A粗大ごみ用証紙販売のように、小売店から登録してもらおう形が考えられる。今現在のように、簡単に買いやすいようにしていきます。

(減量化施策)

Q家庭系ごみだけでなく、事業系のごみの減量も必要なのではないか？

A資源として分別できるものについては、清掃工場での古紙類受け入れ制限や、生ごみ等の削減に向けた事業所ごみの水きり徹底や民間でのコンポスト化への誘導等の施策を行ないたいと考えています。

Qごみを減量するにはどんな方法があるのか？

A最初に、ごみになるものは買わない、持ち込まないといった発生・排出抑制を推進し、次に、購入したものは長く使う、使用しないものはリサイクルショップの利用などを行なうといった再利用。最後に、ごみとして排出する場合は、出来る限り資源となるようにする再生利用。といったように3Rを推進することが、ごみ減量の方法と考えます。

Q生ごみがごみの中でも多いが長井市のレインボープランは検討したのか？

Aレインボープランを25万都市で実施可能かという課題が考えられる。山形市では、生ごみの減量化策として、今後も生ごみ処理機の購入補助や水切り徹底を行なうことにしています。

(実施時期)

Q有料化はいつから行なうのか？

A有料化の実施にあたっては議会での条例改正が必要であります。条例改正されたとして、有料化の導入にあたっては十分な周知期間が必要であり、仙台市においては有料化施行まで1年間の期間をとっている。仮に、今年の12月議会に上程し可決されたとすると、有料化の実施は早くても来年の後半ごろになります。

(ごみの分別、排出方法)

Q剪定枝は袋に入らないがどうなるのか？

A原則的に、ごみ袋に入れて排出をお願いするものです。袋に入らないごみについては、シールを貼って排出となります。

Qプラスチックはどうなるのか？

Aプラスチックについては、基本的には埋立処理と、焼却処理を行っている。新清掃工場では、プラスチック自体の持つエネルギーを燃やして熱回収(サーマルリサイクル)を行ない、発電し、自前で施設の電力を賄う計画であり、余剰電力は売電しようという考えであります。

(手数料収入・使途)

Qどの程度の収入を見込んでいるのか？

A5億5~6千万円程度の収入を見込んでいる。そのうち、ごみ袋の製造費や販売手数料として4割程度かかるので、市に入る実際の収入は3億円程度と考えています。

Q手数料収入は何に使っていくのか？

A有料化制度導入に伴う指定袋の製造等に要する経費やごみの排出抑制やリサイクルの一層の推進に資する施策など、ごみ処理事業に有効に活用します。

(審議会)

Q審議会のメンバーはどうやって決めたのか？

A委員は12名で構成されている。1号委員は知識経験者、2号委員は市民組織の代表、3号委員は関係行政機関となっており、それぞれの団体より推薦いただいて決定している。

(料金設定)

Q目標達成出来ない場合や、その他の要因で料金が値上げされることがあるのか？

A減量効果を見た中で料金設定したものであります。料金の値上げについては、その時の国の状況や他の減量施策の状況等、様々な要因を考慮し検討することとします。

(集積所)

Q集積所の設置基準の見直しとはどんな事を考えているのか？

A現在の集積所設置要綱は、現状に合わなくなっている。高齢者世帯からは、集積所が遠く、大変だというご意見もあることから、見直しを検討している。

Qアパート等のごみ処理で苦慮しているが、何か策を考えていないのか？

A現在アパート建設の際、10世帯以上であれば集積所を独自に設けることとなっているが、この基準の見直しを検討していく。

今後、アパートの入居者、管理者、宅建協会への依頼、今後、大学等へも依頼するなど、周知・指導していく必要があると考えている。

(他自治体)

Q他自治体で有料化を実施したところの状況はどうか？

A減量効果の料金設定と、何のためにやるかの市民の理解が重要であり、やはり手数料をもらうことを目的とし、市民への周知がないままにスタートすると、ごみ減量はならない。目的を持って、有料化とともに減量施策を講じて行くことにより、減量効果が維持している。

Q上山市、山辺町、中山町の有料化はどうか？

A有料化については、二市二町の首長で実施の方向性は確認されており、歩調を合わせて進めていく。

(切り替え時期)

Q現在のごみ袋は有料化後どうなるのか？

A現在のごみ袋は、有料化後は利用できないことが基本であります。余った袋の対応としては今後検討していきます。

(その他)

Q山形市はこれまでごみ減量の努力(施策)はしてきたのか？

Aこれまで市民の協力のもと、古紙類回収、雑がみ回収といった資源回収の推進、ごみ減量・もったいないねット山形と連携し、レジ袋の無料配布中止に向けた取組みなど行ってきた。

Q懇談会の結果は公開されるのか？

A山形市のホームページ等を活用し公表を行っていく。